

I hereby certify that this correspondence is being deposited with the United States Postal Service as first class mail in an envelope addressed to: Assistant Commissioner for Patents, Box Missing Parts, Washington, D.C. 20231 on:

June 20, 2001  
Date of Deposit  
David H. Bluestone - 55,452  
Name of applicant, assignee or  
Registered Representative  
  
Signature  
June 20, 2001  
Date of Signature



# 4  
Our Case No. 9333/269  
Client Reference No. IWUS00029

### IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICES

In re Application of: )  
Mitsuhiko Murata )  
Serial No. 09/827,737 )  
Filing Date: April 6, 2001 )  
For DVD Video Player )  
)

### SUBMISSION OF CERTIFIED COPY OF PRIORITY DOCUMENT

Assistant Commissioner for Patents  
Washington, D.C. 20231

Dear Sir:

Transmitted herewith is a certified copy of priority document Japanese Patent Application No. 2000-107414, filed April 10, 2000, for the above-named U.S. application.

Respectfully submitted,



David H. Bluestone  
Registration No. 44,542  
Attorney for Applicant

BRINKS HOFER GILSON & LIONE  
P.O. BOX 10395  
CHICAGO, ILLINOIS 60610  
(312) 321-4200

日本国特許庁  
PATENT OFFICE  
JAPANESE GOVERNMENT



別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されて  
いる事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed  
with this Office.

出願年月日  
Date of Application:

2000年 4月10日

出願番号  
Application Number:

特願2000-107414

出願人  
Applicant(s):

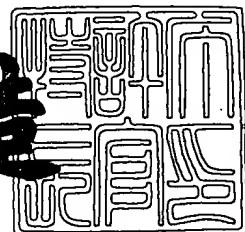
アルパイン株式会社

CERTIFIED COPY OF  
PRIORITY DOCUMENT

2001年 3月23日

特許庁長官  
Commissioner,  
Patent Office

及川耕造



【書類名】 特許願  
【整理番号】 IWP99219  
【あて先】 特許庁長官 殿  
【国際特許分類】 G11B 7/00  
【発明者】  
【住所又は居所】 東京都品川区西五反田1丁目1番8号 アルパイン株式会社内  
【氏名】 村田 克弘  
【特許出願人】  
【識別番号】 000101732  
【氏名又は名称】 アルパイン株式会社  
【代理人】  
【識別番号】 100111947  
【弁理士】  
【氏名又は名称】 木村 良雄  
【手数料の表示】  
【予納台帳番号】 060750  
【納付金額】 21,000円  
【提出物件の目録】  
【物件名】 明細書 1  
【物件名】 図面 1  
【物件名】 要約書 1  
【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 D V Dビデオプレーヤ

【特許請求の範囲】

【請求項1】 D V Dビデオプレーヤの作動状態を示すデータをメモリ選択手段を介して書込む不揮発性の第1メモリ及び第2メモリと、各メモリへの書き込みが終了したことを検出する書き込み終了検出部と、前記書き込み終了検出部の書き込み終了検出時に書き込まれたメモリがいずれであるかのデータを記憶する不揮発性の最終書き込みメモリ記憶部と、前記メモリへの書き込み終了後に前記メモリ選択手段を他のメモリ側に切替える書き込み用メモリ選択部とを備え、プレーヤの電源のオン時に前記最終書き込みメモリ記憶部のデータに基づき選択された側のメモリから、最終再生状態を示すデータを読み込むことを特徴とするD V Dビデオプレーヤ。

【請求項2】 前記メモリへ書込むデータは、D V Dビデオデータ中の再生位置を示すデータである請求項1記載のD V Dビデオプレーヤ。

【請求項3】 前記メモリへ書込むデータは、D V Dビデオデータ中のディスク識別用データである請求項2記載のD V Dビデオプレーヤ。

【請求項4】 前記メモリへ書込むデータは、D V Dビデオプレーヤの再生モードデータである請求項2記載のD V Dビデオプレーヤ。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、D V Dビデオプレーヤにおいて、再生中に電源を切ったとき、最終再生位置を記憶しておき、再度電源を入れたときには記憶した位置から再生することができるプレイポジション機能を備えたD V Dプレーヤに関する。

【0002】

【従来の技術】

近年、小型のディスクに大量のデータを記録することができるD V Dに、M P E G 2のデータ圧縮方式によって長時間の映画やテレビ番組等の映像情報を記録する技術が進歩し、これを再生するD V Dビデオプレーヤが広範囲に普及している。D V Dディスクにはこのように長時間の映像情報を保存しているので、プレ

ーヤの再生中において途中で電源を切り、後にその続きを見る必要がある場合が多くなる。

#### 【0003】

このような場合、従来から用いられている小型の記録媒体としてのCDの場合は、これを再生するCDプレーヤには再生位置を記憶するメモリを備えており、再生中において途中で電源を切ったときには最終再生位置をこのメモリに記憶し保持しておき、再度電源を入れたときには、このメモリから最終再生位置を読み出し、ピックアップをそのデータ位置に移動させ、その部分から再生することができるようになっている。

#### 【0004】

このように、再生中に電源を切ったときに最終再生位置を記憶し、再度電源を入れたときに記憶した最終再生位置から再生を開始させるためのメモリ機能を、一般にプレイポジションメモリ（PPM）機能と呼ばれる。上記のようなCDプレーヤを車両に搭載した際には、CDプレーヤに供給される電源がオン・オフされる場合として、そのCDプレーヤ本体の電源がオン・オフされる以外に、キーによって操作されるアクセサリースイッチ（Accスイッチ）によって、より電源に近い側でオン・オフされることがあり、いずれの場合も有効に作動するようになっている。

#### 【0005】

上記のようなプレイポジション機能を行わせる実際の回路構成としては、プレーヤの各部を含めた全体を制御するシステム制御装置に対してメモリを接続するとともに、電源が切れたことを例えば電源電圧の降下により検出し、その検出時点で再生している再生位置をシステム制御装置の作動によって前記メモリに記憶しておき、その後の電源投入時にメモリに記憶した最終再生位置を読み出すようにすることが考えられる。

#### 【0006】

しかしながら、上記のような回路構成とした場合において、システム制御装置の電源がプレーヤ内の機構及び他の回路と共通の電源回路となっている場合には、電源が切れると同時にシステム制御装置の電源も切れることとなり、前記のよ

うにメモリに記憶している途中でC P Uの作動可能電圧より低下してしまうことがあるため、そのようなときには、メモリの記憶内容の現在の値が不完全であるだけではなく、先に記憶していたデータと混在し異常データ値となってしまうことがある。特に車載用オーディオ装置においては、接続した各機器に電源のオン・オフ用スイッチを備えている一方、より電源側に近い部分にキースイッチとしてのアクセサリスイッチを備えており、車の使用者がオーディオ装置等を利用している状態から車を降りるとき、オーディオ装置等の各電源をオフせずに直接アクセサリスイッチを切ってしまうことが多いため、上記のような状態が多くなる。

#### 【0007】

その対策として、CDプレーヤにおいては、一般にプレーヤ全体を制御するC P Uに対しては別途の電源系統を配置し、それにより他の機構部や回路部のためのメイン電源系統とは切り離した別電源系統とともに、メイン電源系統の電源電圧を常時監視することによって、プレーヤに対する電源オフ操作等による電圧降下時にはこれを検出し、前記最終再生位置をメモリに記憶させ、その記憶終了後の適切な時点でC P Uに対する電源系統を切るようにしている。そのため、CDプレーヤの再生中に突然電源が切られたとしても、最終再生位置を確実に記憶することができ、電源再投入時には、確実に前記記憶位置からの再生を行うことができるようになっている。

#### 【0008】

##### 【発明が解決しようとする課題】

一方、DVDプレーヤにおいても前記CDプレーヤと全く同様のことが考えられ、現在のDVDプレーヤで通常採用されている、DVDプレーヤのシステム制御装置の電源系統をプレーヤの全体の電源系統と同系列とする方式においては、上記のようにメモリに最終再生位置を記録している途中でシステム制御装置の作動電圧が低下するため、正常にメモリできなくなり、実質的にプレイポジションメモリ機能を実施することができない。

#### 【0009】

その対策として前記CDプレーヤの上記対策と同様に、システム制御装置の電

源系統を他の機構部や回路部とは切り離した別途の電源系統とするとともに、メモリに全てを記録した後にシステム制御装置の電源系統を切るようにすることが考えられる。

## 【0010】

しかしながら、前記のようなCDプレーヤで採用しているプレイポジション機能を行う制御装置を従来のDVDプレーヤに組み込むには、電源系統を根本的に変更しなければならず、その際他の制御部にも影響を及ぼすこともあり、プレーヤ全体として大きなシステム変更を行わなければならなくなる。

## 【0011】

したがって、本発明は、既存のDVDプレーヤのシステムを大きく変更することなく、簡単な手段を付加するのみで電源オフ時の最終再生位置等の最終作動状態を確実に記録することができ、その後の電源ON時にこれを容易に読み取って前記最終再生位置から再生を開始することができるDVDビデオプレーヤを提供することを主たる目的としている。

## 【0012】

## 【課題を解決するための手段】

本発明は、上記課題を解決するため、DVDビデオプレーヤの作動状態を示すデータをメモリ選択手段を介して書込む不揮発性の第1メモリ及び第2メモリと、各メモリへの書き込みが終了したことを検出する書き込み終了検出部と、前記書き込み終了検出部の書き込み終了検出時に書き込まれたメモリがいずれであるかのデータを記憶する不揮発性の最終書き込みメモリ記憶部と、前記メモリへの書き込み終了後に前記メモリ選択手段を他のメモリ側に切替える書き用メモリ選択部とを備え、プレーヤの電源のオン時に前記最終書き込みメモリ記憶部のデータに基づき選択された側のメモリから、最終再生状態を示すデータを読むことを特徴とするDVDビデオプレーヤとしたものである。

## 【0013】

また、前記メモリへ書込むデータは、DVDビデオデータ中の再生位置を示すデータとしたものである。

## 【0014】

また、前記メモリへ書込むデータは、DVDビデオデータ中のディスク識別用データとしたものである。

## 【0015】

また、前記メモリへ書込むデータは、DVDビデオプレーヤの再生モードデータとしたものである。

## 【0016】

## 【発明の実施の形態】

本発明の実施の形態を図面に沿って説明する。図1は本発明のDVDビデオプレーヤにおいて、主としてプレイポジション機能を実現する機能を説明するための機能ブロック図であり、DVDビデオディスク1は、スピンドルモータ2により回転するテーブル3に固定され、所定の速度で回転制御されている。このDVDビデオディスク1に対して、図中DVDビデオディスク1の下面に形成した記録層に対向して光学ピックアップ4を配置しており、光学ピックアップ4から対物レンズを通して所定位置に焦点を結ぶ半導体レーザ光を照射し、DVDビデオディスクから反射してくるレーザ光を再び対物レンズを通してフォトダイオードで受光し、それによりディスクに記録されたRF信号を再生している。

## 【0017】

このRF信号はRFアンプ5で増幅されてDVDデータプロセッサ6に入り、このDVDデータプロセッサ6ではMPEGデータを復調するとともに、誤り訂正処理、MPEGビデオデータとMPEGオーディオデータとの分離処理、及び後述する各種管理情報、アドレス情報の抽出処理等のデジタル信号処理を行う。MPEGビデオコーダ7は、DVDデータプロセッサ6で分離されたMPEGビデオデータに基づいてMPEG2の画像データを復号化する。

## 【0018】

復号化された映像データは、デジタル-アナログ変換器8に入力され、輝度信号Yおよび色差信号Cb、Crが作られる。さらに、ビデオエンコーダ9によって、これらの輝度信号及び色差信号から映像信号（NTSC又はPAL）が作られる。MPEGオーディオコーダ10は、DVDプロセッサ6で分離されたMPEGオーディオデータに基づいてMPEG2の音楽データを復号化する。こ

の復号化された音楽データは、ディジタルーアナログ（D/A）変換器11を通過することによって、アナログの音楽信号に変換される。

#### 【0019】

DVDビデオディスク1に記録されたデータは、所定のフォーマット基準に沿ってフォーマットされており、例えば図6に示すようにフォーマットされる。即ち、このDVDに記録されているデータが映画である場合は、この映画の1作品となるビデオオブジェクトセット（VOBS）が1つの単位となっている。このVOBSは、1群の記録データとして管理される複数のビデオオブジェクト（VOB）からなる。このVOBは映画では1シーンや1カット等の単位となるセル（Cell）の集合で構成され、このCellの再生時間は数分から十数分程度となっている。

#### 【0020】

各Cellは複数のビデオオブジェクトユニット（VOBU）によって構成され、このVOBUは全再生時間が0.4秒から1.2秒単位のデータが記録されることとなっている。このVOBUの中には、MPEG2のフォーマットにおける複数のグループオブピクチャーが含まれる。このVOBUは、VOBUを管理する情報を記録したナビゲーションパック（NVパック：NV-PCK）と、主映像を記録したビデオパック（Vパック：V-PCK）と、音声データを記録したオーディオパック（Aパック：A-PCK）と、字幕等の副映像データを記録したサブピクチャーパック（SPパック：SP-PCK）とにより構成されている。

#### 【0021】

各VOBUは前記NVパックと呼ばれる管理パック内のデータに基づき管理される。このNVパックには、VOBU全体の管理データとして、このVOBUの再生時間が記録され、また、NVパックにより再生が制御されるVOBUのサイズが記録されている。そのほか、このNVパックには、このNVパックのアドレス、VOBUのカテゴリー、ユーザオペレーションの制御情報のほか、このVOBUが含まれているCellの先頭からの経過時間等、種々の管理データが記録されている。

## 【0022】

また、NVパック内には、図7に示すように、映像データ表示の制御情報であるプレゼンテーション・コントロール・インフォメーション（PCI）と、各データのサーチ情報であるデータ・サーチ・インフォメーション（DSI）とを備えている。また、前記PCIには、このPCI全体の管理情報と、ノンシームレスの場合のアングル切換情報と、副映像等を表示する際に所定領域にハイライト表示をするための情報と、主映像データ、副映像データ、音声データのレコーディング情報等が記録されている。また、前記DSIには、このDSI全体の管理情報（DSI GI）と、シームレスの場合の再生管理情報（SML PBI）と、シームレスの場合のアングル情報（SML AGLI）と、VOBU間の時間間隔等のVOBU検索情報（VOBU SRI）と、音声データ及び副映像データと時間的な一致を示すシンクロ情報（SYNCI）等が記録されている。

## 【0023】

更に、前記DSIの管理情報（DSI GI）には、このNVパックのシステムクロック基準（NV PGK SCR）、このNVパックのアドレス（NV PCK LBN）、このVOBUのエンドアドレス（VOBU EA）等のこのVOBUに関する各種データ、このVOBUが含まれているセルの先頭からの経過時間（C E L T M）等が記録されている。したがって、この管理情報を読み取ることにより、0.4～1.2秒間のデータが記録されているVOBU単位で、現在の再生位置を知ることができる。

## 【0024】

図1に示すシステム制御部14は、このDVDプレーヤの各部を総合的に制御を行う部分であり、特に本発明の第1実施例に関しては、DVDデータプロセッサ6で得られたDVDビデオディスクを再生するための前記DVDデータ中の管理情報を入力する再生位置データ入力部15を備えている。また、他の実施例においては、各ディスクを識別するためのディスク識別データも入力する。

## 【0025】

システム制御部14には更に、前記再生位置データ入力部15のデータをプレイポジションメモリ（PPMメモリ）21に出力する再生位置データ出力部16

を備えている。また、電源切断後に電源がオンしたことを電源監視部18で検出し、後述するようにPPMメモリ21から最終再生位置データ入力部17にデータを入力する。更に、PPMメモリ21の最終書き込み再生位置メモリ記憶部24に対して、記憶データの出力を指示するに最終書き込みメモリ選択部19を備えている。

## 【0026】

また、システム制御部14においてはスピンドルモータ2の駆動制御を行うモータドライバ13に信号を出力し、その制御を行うとともに、光ピックアップ4に対しても信号を出力し、通常の再生位置の指定のほか本発明によるプレイポジションメモリを用いた再生位置の指定も行う。システム制御部14には操作部20が接続し、ユーザの各種指示のほか必要に応じて電源のオンオフ信号も入力する。

## 【0027】

プレイポジションメモリ（PPMメモリ）21には、現在再生しているDVDビデオデータの再生位置を記憶する第1再生位置メモリ（A）22と第2再生位置メモリ（B）23の2つのメモリを備え、メモリ入出力切替部25が入出力切替手段27を図示する状態に切り替えているときには、書き用メモリ選択部26がメモリ選択手段28によって切り替えている側の再生位置メモリに対して、現在の再生位置データをシステム制御部14の再生位置データ出力部16から入力して書き込むようにしている。各再生位置メモリのサイズは、記憶すべきデータ量に合わせて適宜の値に設定され、その初期値はバックアップする情報に合わせて適切な値に設定しておく。これらの再生位置メモリは、後述する最終書き込み再生位置メモリ記憶部24とともに、電源が切れても記憶を保持することができる不揮発性のSRAMを用いる。

## 【0028】

更に、この2つの再生位置メモリのうちのいずれかに現在の再生位置が書き込まれたとき、その書き込み作動の終了を書き込み終了検出部30が検出し、現在書き込みが終了した再生位置メモリが第1再生位置メモリ22であるか第2再生位置メモリ23であるかのデータを、最終書き込み再生位置メモリ記憶部24に記憶する

。この最終書込み再生位置メモリ記憶部24に記憶されるデータは、データ無しあるいは不定値、第1再生位置メモリ（例えば「A」）、第2再生位置メモリ（例えば「B」）の3つデータを識別することができるだけでよいので、マイコンの処理がしやすい単位で、1バイトもしくは1ワードの容量を確保すればよい。また、そのデータの初期値は「データなし」を初期値とする。

#### 【0029】

システム制御部14には最終書込メモリデータ読込部19を備えており、ここからPPMメモリ部21の最終書込み再生位置メモリ記憶部21にアクセスし、その値を読み込み、最後に書き込んだ再生位置メモリの上記記号等のデータを識別する。その結果によって、書込用メモリ選択部26を作動し、メモリ選択手段28によってシステム制御部14と接続する再生位置メモリを切り換える。その結果、プレーヤが再生中の時には、その再生位置を示すデータを最終書込み再生位置メモリ24の値によっていずれかのメモリに交替で書き込むことができる。

#### 【0030】

また、電源がONされた時、システム制御部14の最終書込みメモリデータ読込部19は、最終書込み再生位置メモリ記憶部24における各メモリに対応した記号等のデータを読み込み、先の再生時に最後に記憶した再生位置メモリを識別し、書込用メモリ選択部26の作動によって、最後に記憶した再生位置メモリの側にメモリ切替手段28を切り替えるようにしている。このとき、システム制御部14によってメモリ入出力切替部25が、入出力切替手段27を最終再生位置データ入力部17と接続するように切り替えることによって、上記のようにして選択した側の再生位置メモリのデータを入力することができる。

#### 【0031】

図1に示される上記のような機能構成は、本発明の基本機能をなす第1実施例を実施するためのものであるが、例えば図4、図5に示すような、更に種々の最終再生状態を記憶する機能を備えたものにおいては、その記憶データに応じて図1に示されるPPMメモリ、及びそのメモリ選択部等を同様の構成によって並列に付加することにより実施することができる。

#### 【0032】

図2は上記図1に示す実施例のDVDプレーヤにおいて、プレーヤの作動時に最終位置をメモリに書き込む手順を示す作動フロー図であり、図1の再生位置データ入力部15において、DVDデータプロセッサから0.4~1.2秒毎に更新されるDVDビデオデータ中のVOBUにおける前記管理情報から、新しい再生位置を示すデータが取り込まれると（ステップS1）、システム制御部14の最終書込みメモリデータ読込部19から最終書込み再生位置メモリ記憶部24にアクセスし、最後に書き込まれた再生位置メモリを読み出し、第1再生位置メモリであるか否か、たとえば「A」の記号が記録されているか否かを判別する（ステップS2）。

#### 【0033】

その結果「A」が記録されていたときには次に入力する再生位置のデータは第2メモリに記録するため、システム制御部14は書込用メモリ選択部26を作動してメモリ選択手段28を切り換え、第2再生位置メモリ側に対して入力を可能とする（ステップS3）。また、最終書込み再生位置メモリ24に、第2再生位置メモリ側である例えば「B」の記号が記録されていたとき、あるいは「A」「B」のいずれも記録されていない「データ無し」等のときには第1再生位置メモリ22に対して入力を行うように設定する（ステップS4）。

#### 【0034】

上記「データ無し」は初期値でもあるので、このDVDプレーヤに新しいDVDを装填したときには、自動的に第1再生位置メモリ22が選択される。また、例えば最終書込み再生位置メモリ24に記録している途中に電源が切れてしまったときのように、その記録が不完全な時にも、自動的に第1再生位置メモリ22が選択され、以降はこれを基準にして各メモリに交替に再生位置を記録することができる。

#### 【0035】

このようにして切り換えられ選択された再生位置メモリ側に、前記のように読み込まれた新しい再生位置が書き込まれる（ステップS5）。その後、書込み終了検出部30でその書き込みが終了したことを検出したときには（ステップS6）、最後に書き込まれた再生位置メモリに対応する前記「A」「B」等の記号を、

最終書込み再生位置メモリ記憶部24に書き込む（ステップS7）。その後再びステップS1に戻り、上記と同様の作動を繰り返す。

#### 【0036】

それにより、再生中のDVDデータにおいて新しいVOBUが再生される毎にそのときのデータの位置が2つのメモリの内のいずれかに交替で書き込む作動が継続する。したがって、例えばこのプレーヤの再生中に急に電源を切ったとき、再生位置の書き込みが不適切となり、前のデータと現在のデータとが混在してしまったときのような場合でも、そのメモリ以外のメモリにはDVDデータにおける上記VOBU単位での0.4～1.2秒前の再生位置の記録を残しておくことができる。このようにデータの書き込みが不完全の時には、書き込み終了検出部30はその書き込みの終了を検出していないので、最終書込み再生位置メモリ記憶部24には原則として前回の適正に記録したメモリの記号が記録されている。

#### 【0037】

一方、このDVDプレーヤを再生中に停止して電源が切られ、あるいは急に電源が切られて停止した後に、先に再生していたDVDディスクを再び見るため電源を入れたときには、図3に示すような作動フローによって、先に記憶した最終位置をメモリから読み込み、その位置から再生する処理がなされる。即ち、図1のシステム制御部14の電源監視部18が電源のオンを検出したときには（ステップS11）、システム制御部14はメモリ入出力切替部25によりメモリ入出力切替手段27を最終再生位置データ入力部17側に切り替え、後述するようにPPMメモリ21の内容をシステム制御部14に取り込むことができるようになる。

#### 【0038】

このとき、最終書込みメモリデータ読込部19はPPMメモリ部21の最終書き込み再生位置メモリ記憶部24に記録されている前記のような、最後に記録されたメモリは第1メモリ側か第2メモリ側かのデータを読み込み、その判別を行う（ステップS12）。その結果、例えば「B」の記号が記録されている等により、第2再生位置メモリ23側のデータが最終再生位置であると判別されたときには、メモリ選択手段28を第2再生位置メモリ23側と接続するように切り替

え（ステップS13）、このデータをシステム制御部14の最終再生位置データ入力部17に対して出力することができるようとする。

#### 【0039】

また、前記最終書込み再生位置メモリ記憶部24に、例えば「A」が記録されている場合には、第1再生位置メモリ22側のデータが最終再生位置であると判別し、メモリ選択手段28を第1再生位置メモリ22側に切り換える（ステップS14）、このデータを最終再生位置データ入力部17に対して出力することができるようとする。この実施例においては、データ初期値としてのデータ無しの状態、あるいは不定値の場合にも、第1再生位置メモリ22を選択するようにしている。ただし、これを第2再生位置メモリ23を選択するように設定しても良い。

#### 【0040】

このようにして読み込む再生位置メモリが選択されると、最終再生位置データ入力部17ではそのメモリ内のデータを読み出す（ステップS15）。システム制御部14ではこのデータに基づきピックアップ4をその最終再生位置に移動し（ステップS16）、その後再生を開始して（ステップS17）、この作動フローを終了する（ステップS18）。上記のように作動することにより、先に使用していたDVDディスクにおいて、最終再生位置からの再生が可能となる。

#### 【0041】

上記実施例においては、本発明のプレイポジションメモリ機能を用いた最も基本的な作動の例を示したものであるが、同様の構成、作動により種々の態様を実施することができる。例えば図4に示すように、上記のような再生位置情報のほか、ディスク識別情報、及び再生モード情報も記憶しておくことができる。即ち、図1に示したPPMメモリのセットと同様のセットを（a）（b）（c）の3組備え、（a）はディスクを識別するために使用し、（b）は再生モードを記録するために使用すると共に、（c）は前記実施例と同様に再生位置を記録するために使用する。

#### 【0042】

各々の組において、第1メモリと第2メモリ、及びそのいずれの方に記録されたものが最後のデータであるかを記録する最終書込みメモリ記憶部とを備える点

も、前記実施例と同様である。なお、メモリ構成上、第1メモリと第2メモリは一連の値として記憶領域を構成することもでき、あるいは各記憶領域を全く別個に設定しておくこともできる。

#### 【0043】

このようなPPMメモリ部を備えたDVDビデオプレーヤにおいては、例えば図5に示すような機能構成ブロックによって作動させることができる。即ち、図5には前記図1の機能ブロック図における、システム制御部14とPPMメモリ部21に対応する部分近傍のブロック構成のみを示しており、全体としてディスク識別データ管理部41、最終再生モードデータ管理部42、前記図1に示すものと同様の最終再生位置データ管理部43を備えており、各々同様の機能ブロック構成としている。

#### 【0044】

システム制御部44は全体のデータ管理を行う機能を別途備えるとともに、再生情報入出力部45を備え、図1のDVDデータプロセッサ6のデータ、あるいはモータドライバ13における再生モード等のデータを入力し、必要なデータをピックアップ4、モータドライバ13に対して出力する。システム制御部44の再生情報入出力種類選別部46においては、入力したデータがディスク識別データの場合はディスク識別データ管理部41に対して出力し、再生モードデータの場合は最終再生モードデータ管理部42に対して出力し、最終再生位置データの場合は最終再生位置管理部43に対して出力する。このように、入力した再生情報の種類に応じて、データ管理部を選別して各データを出力する。また、電源オン時に最終再生状態を読み取る際に、各管理部のデータを順に読み込み、一連のデータとしてDVDプレーヤのピックアップやモータドライバに駆動信号として出力する。

#### 【0045】

図中3個のデータ管理部の各機能は、前記図1の最終再生位置データの管理と同様であるので、その詳細な説明は省略するが、そのDVDビデオプレーヤにおいて最後に再生していたDVDビデオディスクの識別データを、第1ディスク識別メモリ47あるいは第2ディスク識別メモリ48のいずれかに記録し、その書

き込みが終了したことを書き込み終了検出部49が検出したときには、最後に書き込んだメモリの記号等のデータを最終書き込みメモリ記憶部50に記録する。

## 【0046】

そのデータはその後の電源オン時に読み取られ、メモリ選択部51の切り替えによって最終的に書き込まれた側のメモリを選択し、システム制御部側に出力される。それにより、例えばDVDディスクチェンジャを用いているプレーヤの場合は、先に使用していたディスクを選択して再生することができる。また、1枚のDVDビデオディスクを再生するプレーヤにおいては、電源オン時に再生されるDVDビデオディスクが先に再生していたディスクであるか否かを判別することができる。

## 【0047】

また、そのDVDプレーヤにおいて最後に再生していた再生モード、即ち通常の再生、早送り、逆方向に早送り、一時停止等のモータドライバ駆動データを、第1再生モードメモリ54あるいは第2再生モードメモリ55のいずれかに記録し、その書き込みが終了したことを書き込み終了検出部56が検出したときには、最後に書き込んだメモリを最終書き込みメモリ記憶部57に記録する。そのデータはその後の電源オン時に読み取られ、メモリ選択部58の切り替えによって最終的に書き込まれた側のメモリを選択し、前記と同様にシステム制御部44側に出力する。再生モードとして記録するデータは、上記以外に、必要に応じて字幕と吹き替え、日本語と原語等、適宜の再生モードデータを追加することもできる。なお、最終再生位置データ管理部43については前記図1と同一構成であるのでその説明は省略する。

## 【0048】

上記のような機能ブロック構成によって、ディスクの識別、最終再生モード、及び最終再生位置を確実に記録し、電源のオン時にこれらのデータを読み込むことによって、先にそのDVDプレーヤで使用していたディスクに対して、その再生位置から、最終再生状態によって再生作動を行うことができる。なお、このほか同様の構成により、種々の最終再生状態を記憶しておくこともでき、あるいは上記のうちのいずれかのみを記録し、これを読み込むように設定することもでき

る。

### 【0049】

#### 【発明の効果】

本発明は、上記のように構成したので、既存のDVDビデオプレーヤのシステムを大きく変更することなく、簡単な手段を付加するのみで電源オフ時の最終再生作動状態を確実に記録することができ、その後の電源オン時にこれを読み取って前記最終再生作動状態から再生を開始することができる。

### 【0050】

また、前記メモリへ書込むデータを、DVDビデオデータ中の再生位置を示すデータとしたものにおいては、電源のオン時に先に再生していた位置から再生することができるようになる。

### 【0051】

また、前記メモリへ書込むデータを、DVDビデオデータ中のディスク識別用データとしたものにおいては、電源のオン時に先に再生していたDVDビデオディスクを判別することができ、例えばDVDディスクチェンジャーを用いている場合には、先に使用していたディスクを再生することができる。また、1枚のDVDディスクを再生するプレーヤにおいては、電源オン時に再生されるDVDビデオディスクが先に再生していたディスクであるか否かを判別することができる。

### 【0052】

また、前記メモリへ書込むデータを、DVDビデオプレーヤの再生モードデータとしたものにおいては、電源オン時にそのプレーヤで先に再生していた通常の再生、早送り、逆方向への早送り、一時停止等の各種再生モードによって再生を開始することができる。

#### 【図面の簡単な説明】

##### 【図1】

本発明の基本的な実施例の機能構成及びそれらの相互関係を示す機能ブロック図である。

##### 【図2】

同実施例の再生位置書き込み処理の作動フロー図である。

【図3】

同実施例の最終再生位置読み込み処理の作動フロー図である。

【図4】

本発明の他の実施例のPPMメモリ構成を示す説明図である。

【図5】

同実施例のシステム制御部とPPMメモリ近傍の機能ブロック図である。

【図6】

DVDビデオデータのフォーマット例を示すデータ構成図である。

【図7】

同データ中のVOBUに記録されているデータを示すデータ構成図である。

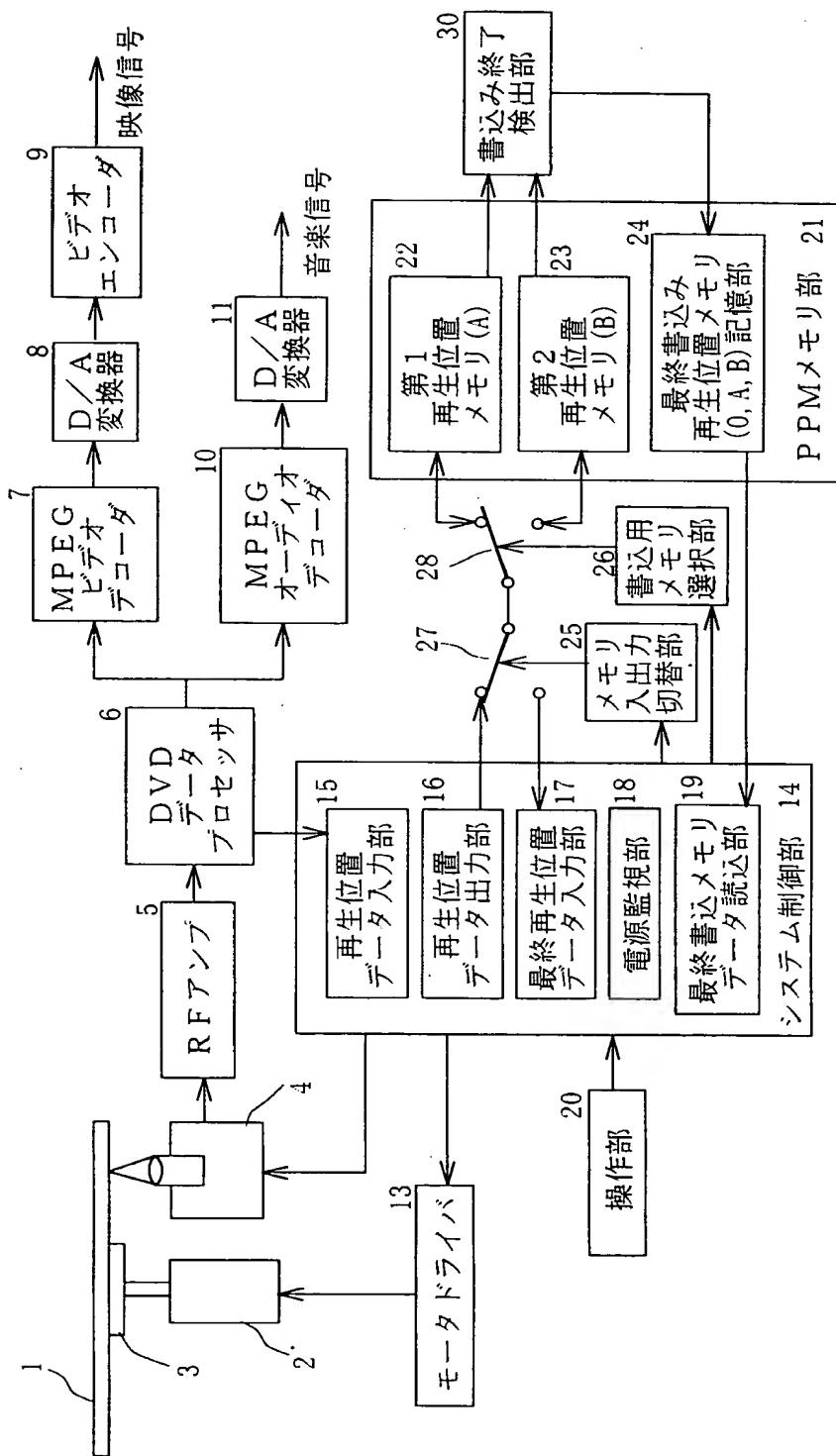
【符号の説明】

- 1 DVDビデオディスク
- 6 DVDデータプロセッサ
- 14 システム制御部
- 15 再生位置データ入力部
- 16 再生位置データ出力部
- 17 最終再生位置データ入力部
- 18 電源監視部
- 19 最終書き込みメモリデータ読み込部
- 21 PPMメモリ部
- 22 第1再生位置メモリ
- 23 第2再生位置メモリ
- 24 最終書き込み再生位置メモリ記憶部
- 25 メモリ入出力切替部
- 26 書込み用メモリ選択部
- 27 入出力切替手段
- 28 メモリ選択手段

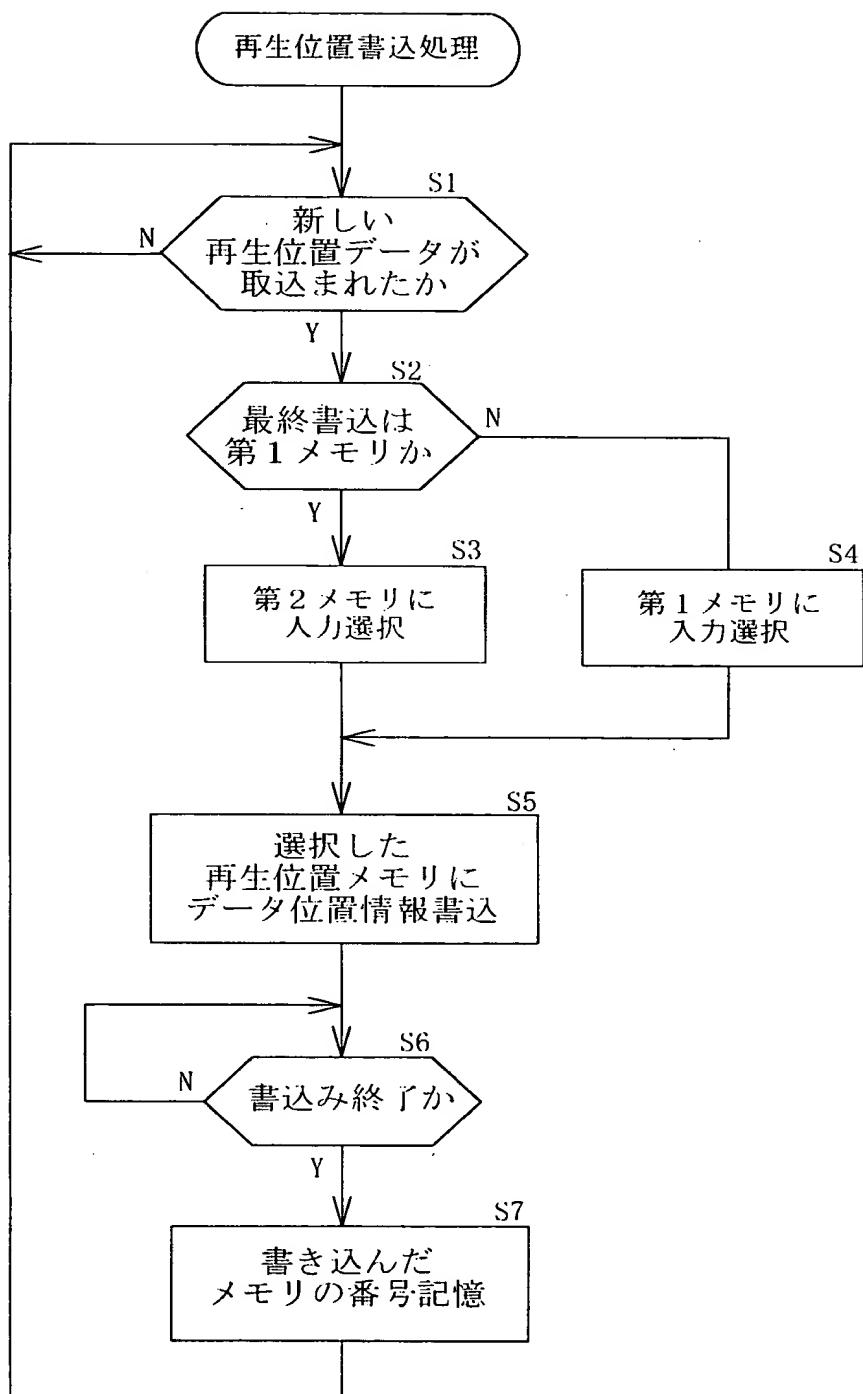
【書類名】

図面

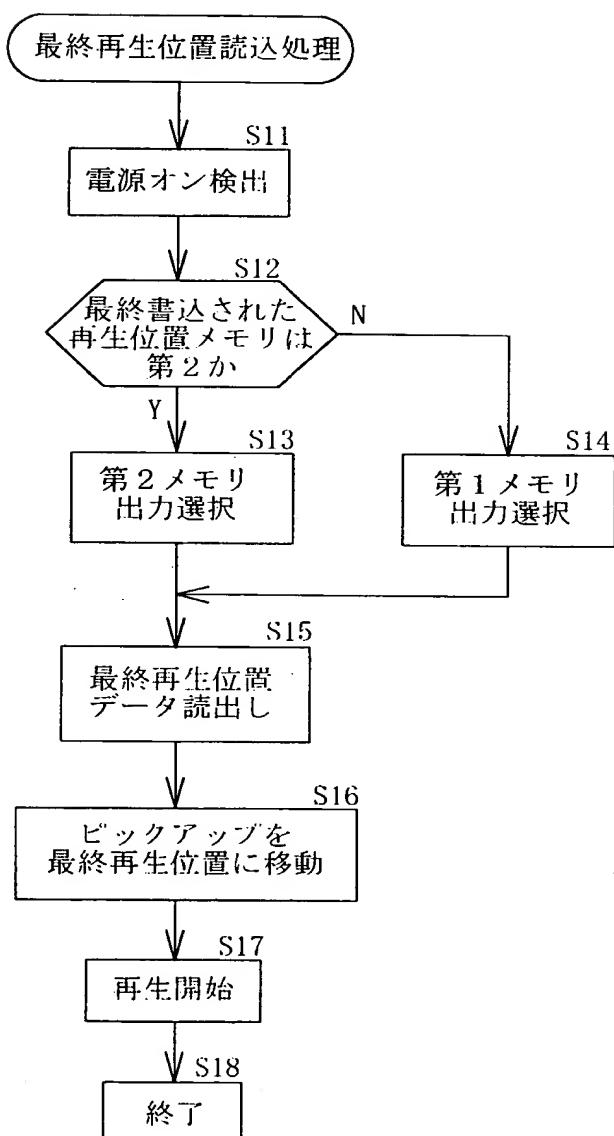
【図1】



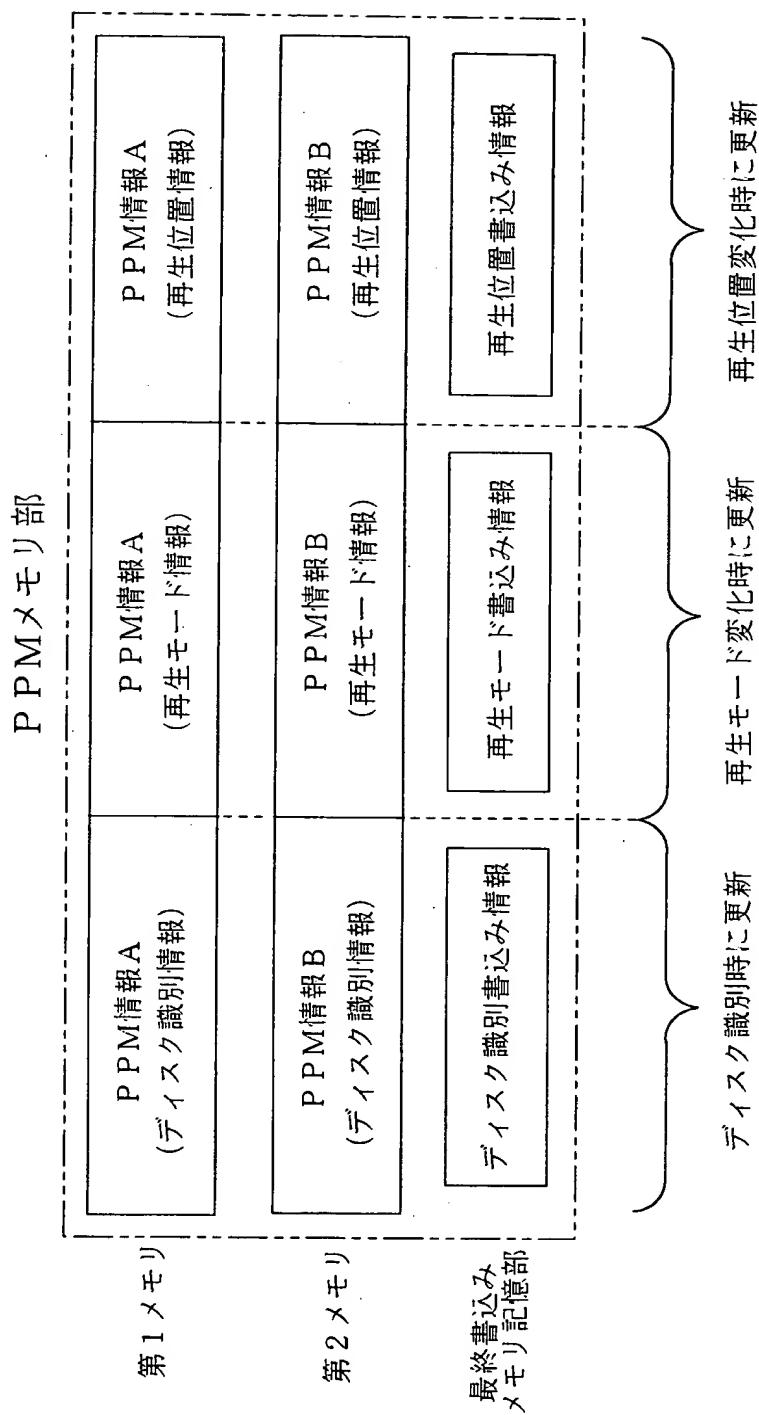
【図2】



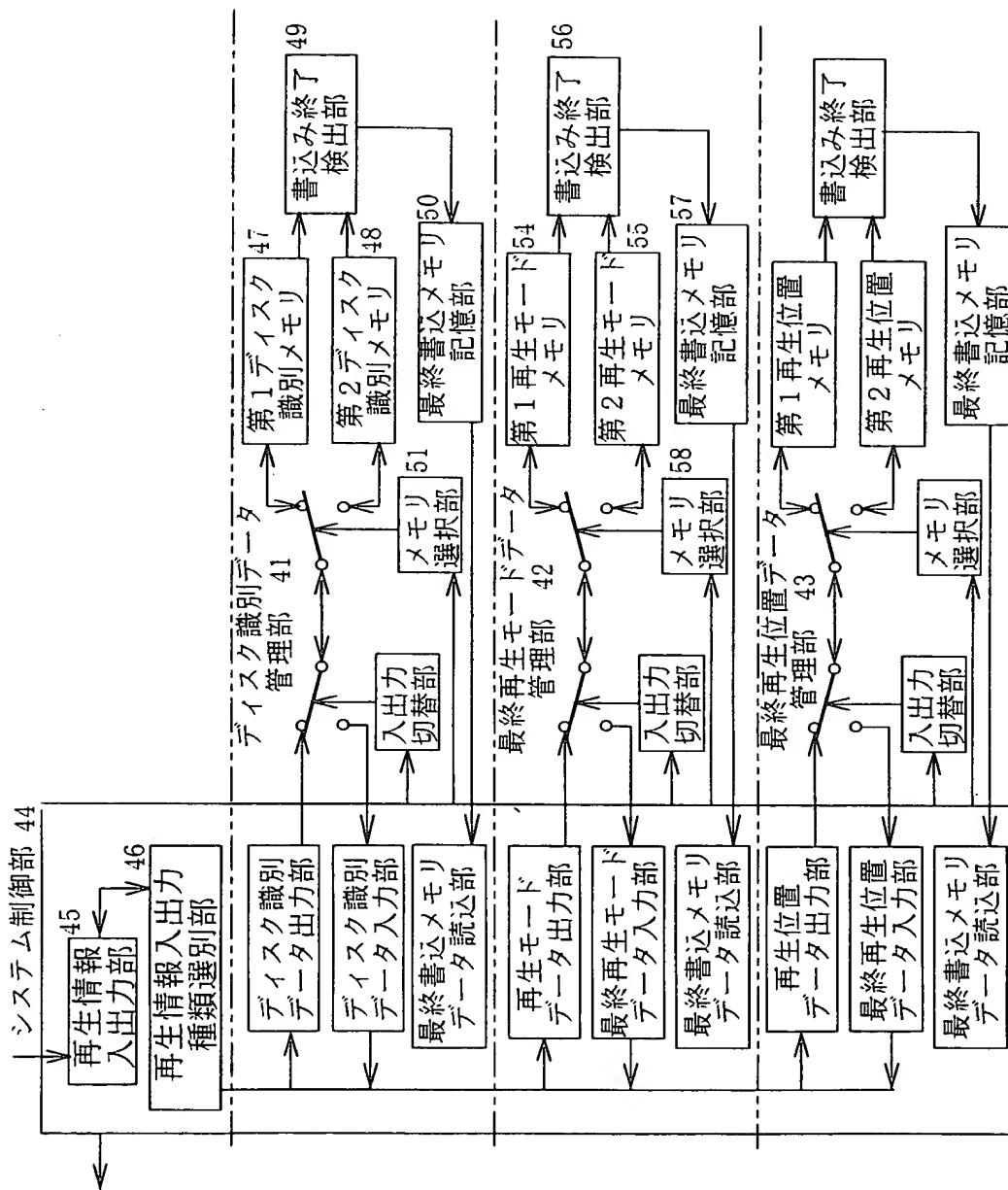
【図3】



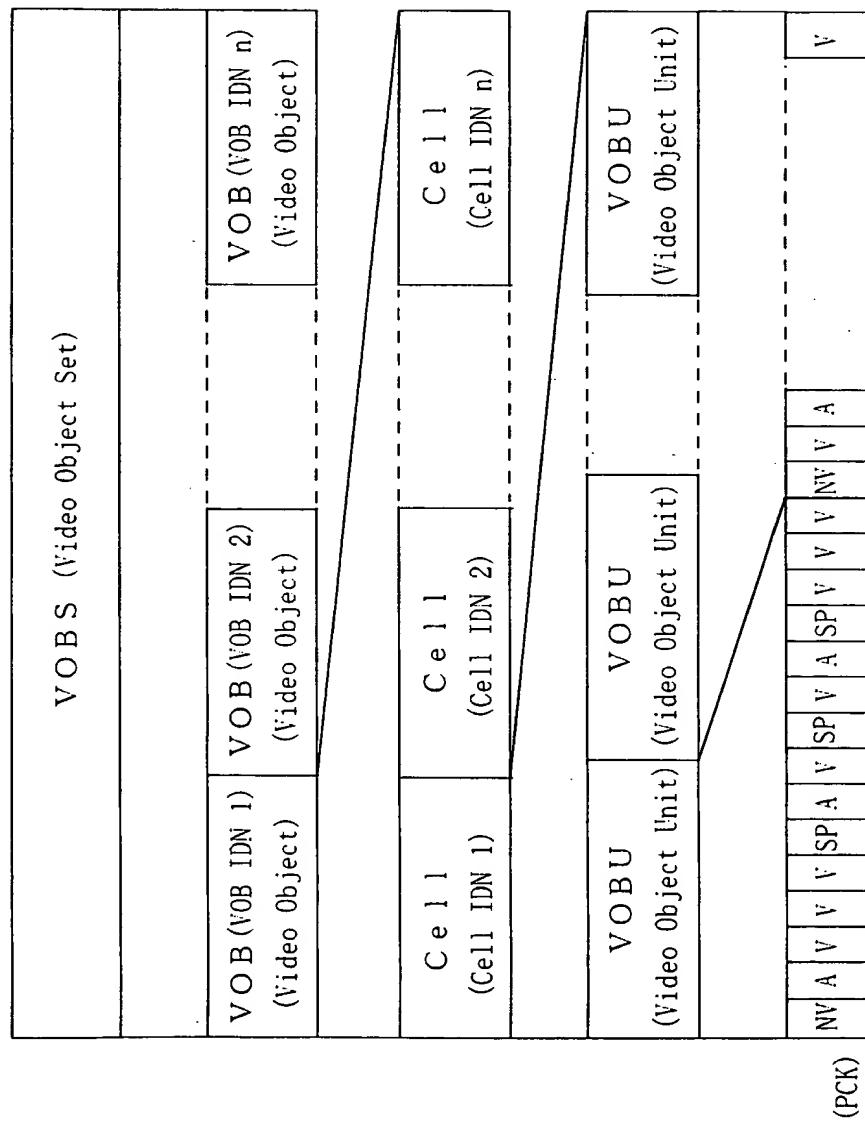
【図4】



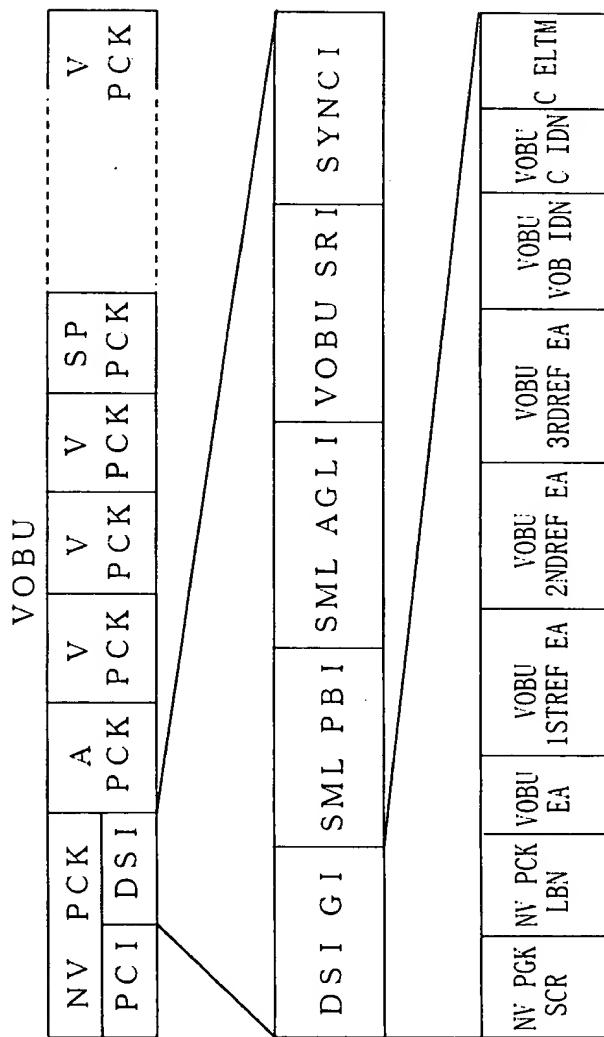
【図5】



【図6】



【図7】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 DVDビデオプレーヤにおいては、電源を元から切ったときには全ての部分が一度に切れるため、そのプレーヤの最終再生位置等を記録する従来のCD等の最終再生状態記憶機能（PPMメモリ機能）では適切に作動しない。

【解決手段】 DVDビデオプロセッサ6で得られたDVDビデオデータ中のVOBU管理データから現在の再生位置データを読み込み、メモリ選択手段28で選択された再生位置メモリにそのデータを書き込む。その終了を書き込み終了検出部30が検出したとき、最終書き込み再生位置メモリ記憶部24に現在書き込んだメモリに対応する記号等を記憶し、書き込み用メモリ選択部28を反対側に切り替え、以降同様の作動を継続する。電源オフ後に再びオンした時には、最終書き込み再生位置メモリ24のデータを読み込み、メモリ選択手段28をそのメモリ側に切り替え、そこから再生位置データを読み出し、その再生位置から再生を開始する。

【選択図】 図1

認定・付加情報

特許出願の番号	特願2000-107414
受付番号	50000446375
書類名	特許願
担当官	第八担当上席 0097
作成日	平成12年 4月11日

<認定情報・付加情報>

【提出日】 平成12年 4月10日

次頁無

出願人履歴情報

識別番号 [000101732]

1. 変更年月日 1990年 8月27日

[変更理由] 新規登録

住 所 東京都品川区西五反田1丁目1番8号

氏 名 アルパイン株式会社